

山野清一郎 せいいちろう 刑法學・佛教學者、法學博士。明治二十四年一月十日岩手縣生れ、昭和六十一年二月九日没（八九―一九六）。大正八年東京帝國大學法科大學卒。司法省入省、検事となり、歐米留學後、十一年母校教授。戦後辯護士開業。法務省特別顧問、刑法改正準備會議長、愛知學院大學教授等歴任。昭和四十七年文化勳章受章。日本學士院會員。 おの 縁く佛教學者として著名。

著書 『宗教肯定の論理』（昭和七年十月十八日大雄閣）、『佛教と現代思想』（普及版・昭和九年一月十五日大雄閣）、『佛教講話』（合著・佛誕二千五百年記念學會編、昭和十年五月二十日改造社）、『日本佛教の歴史と理念』（花山信勝共編、昭和十五年二月二十八日明治書院）、『刑事訴訟法』（昭和十八年十二月二十日岩波書店）『岩波全書』（『歎異抄講話』（昭和二十一年五月二十日河出書房）『現代聖典講話』（再刊・二十五年四月二十日河出書房新社）、『親鸞における信と行』（昭和二十四年十月二十日大東急記念文庫）『文化講座シリーズ』（『不滅の親鸞』（昭和四十一年十一月一日京都・百華苑）『仏教文化研究会双書』）等。

